



蓬原の子

「最適なタイミング」

校長 徳田 賢一

多くの保護者の皆様に御協力いただき、6月22日(日)の早朝から、PTA 奉仕作業が行われました。日常の環境整備ではなかなか手を入れることのできない体育館裏の急斜面や校舎裏の土手など、プール外周の隅々まできれいに刈り揃えていただきました。

また午後からの学級対抗ミニバレー大会では、白熱した戦いが繰り広げられました。優勝した6年生、準優勝の4年生おめでとうございます。そして御参加いただきました全ての皆様に感謝申し上げます。

真夏の日差しが照りつける中、周囲を整備され青々とした水で満たされたプールでの水泳学習や、快適にエアコンディショニングされた教室には天井扇も回り、申し分ない学習環境が整えられています。また、本校では、少人数編制の利点を生かし個に応じた学習指導を充実させ、一人一人の力をさらに伸ばすことのできる態勢にあります。このような中で日々行われている教育活動ですが、学習を進めていく上で、時期やタイミング、順番や量など、最適と思われる学習計画で行われています。

作物を栽培する農家の方々は、昔から暦や天気の状況を観察して、田や畑の段取りをするといった知恵を持っています。

初夏の頃になると「夏も近づく八十八夜、野にも山にも若葉が茂り……」と歌われているように、春分の日から88日目が新茶の摘み取りに適しているとして、茶摘みに精を出します。この時期の太陽の光や初夏の風が茶の葉をいっそう引き立て、おいしいお茶になるのでしょうか。その地域、その畑によって微調整するのは農家の腕の見せ所です。

この季節を過ぎると半夏生という時期を迎えます。半夏生は、夏至から11日目に当たる日を言い、太陽が天球上の黄道100度の点を過ぎるときでもあります。この時期は、最も田植えに適した時期だと言われていますが、蓬原台地ではすでに稻が大きく成長しています。これもその土地に応じた時期やタイミングを調整する、経験を踏まえた農家の知恵なのでしょう。

そして梅雨が明けた7月になると「五風十雨」という時期を迎えます。「五日に一度風が吹き、十日に一度雨が降る」という意味で、農作物がよく育つ自然の姿です。

さあ、夏休みまで残すところ3週間程です。頃合を逃さず、十分な量の学習時間と質の高い家庭学習で、学力という収穫物を手に入れていきましょう。



5年生 集団宿泊学習

6月4、5日に1泊2日の日程で、5年生6名が、国立大隅少年自然の家（おおすみくんち）で宿泊学習を行いました。

2日間の内容は次のとおりです。

【1日目】 飯ごう炊飯（カレーライス作り）



館内オリエンテーリング
出会いの集い



シャッフルボード
夕べの集い
夕食・入浴

星空観察

朝の集い



朝食・清掃・退所点検
フライングディスクゴルフ
スラックライン
昼食
スポーツクライミング・バッ哥
別れの集い

6名しかいない5年生でしたが、飯ごう炊飯は肝付町立波野小学校の5、6年生と一緒にカレー作りを体験できました。また、夜の星空観察も波野小学校と合同で行い、石堂先生が話される「月のクレーター」や「星座のエピソード」にまつわる話に全員聞き入っていました。その後に行われた天体望遠鏡での月の鑑賞会も盛り上りました。今回の宿泊学習では、今まで発見できなかった6人それぞれのよさに気づくことができた2日間だったと思います。いよいよ来年度は最高学年になります。今まで以上にパワーアップした5年生に乞う御期待です。

【5年生の感想文】

●私が宿泊学習で一番心に残ったことは、野外炊飯です。なぜかというと、みんなで協力して作られたからです。味はとてもおいしかったです。施設の皆さんには感謝しています。とても楽しかったので、また行きたいです。

●私は宿泊学習で野外炊飯が面白かったです。理由は、焼きマシュマロとカレーがおいしいのと、波野小学校の人が「おいしくなーれ、おいしくなーれ。」と言っていたからです。また行きたいです。

●私は1泊2日の宿泊学習に行きました。一番楽しかったことは、館内オリエンテーションです。その理由は、地図と一緒に付いていた写真を探すのが楽しかったからです。あと、フライングディスクゴルフも楽しかったです。

●宿泊学習では、最後のスポーツクライミングで鈴大真さんたちは一番上まで登っていましたが、僕は高いのがいやだったので一番上まで登れませんでした。鈴大真さんたちはすごいなあと思いました。